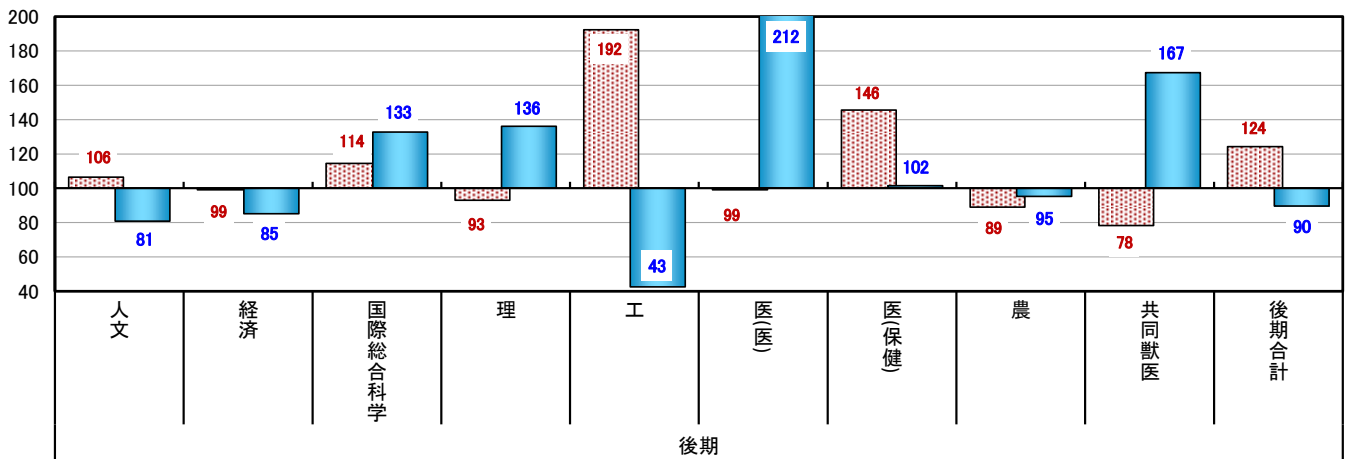
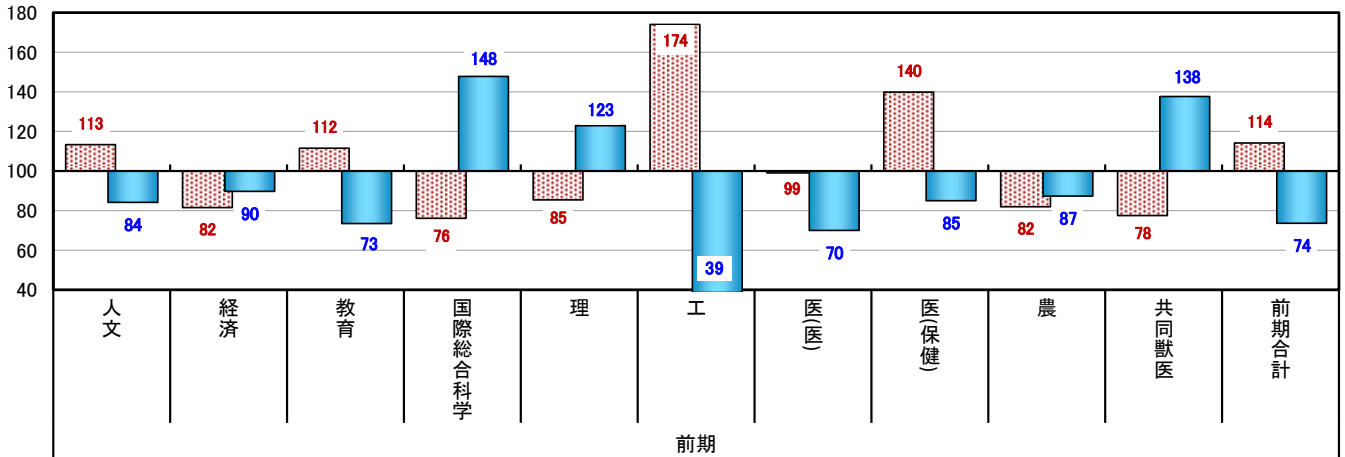


山口大：前期は大幅減少、後期は減少、工に共テ平均点ダウンの影響が顕著 前期：-928人 後期：-320人

※前年度の志願者数を100とする指数

■2021年度/2020年度 ■2022年度/2021年度



主な入試変更点 募集人員：教育(学校教育教員養成/小学校教育)…<前>37人→38人
(学校教育教員養成/情報教育)…<前>10人→8人
(学校教育教員養成/教科教育)…<前>80人→66人

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前期は928人(74)の大幅減少で、志願者数は2,600人を下回った。2020年度以降は大幅な増減が連続。学部別では、特に工(39)は共通テストの平均点ダウンが大きく影響した結果、激減だった。後期は320人(90)の減少。2018年度以降反動により増減が継続。学部(医は学科)別では、医(医)(212)、共同獣医(167)はいずれも激増。一方で、前期同様に工(43)は共通テストの平均点ダウンが大きく影響した結果、大幅減少だった。

<前期日程>

- 人文(84)は、前年度増加の反動で大幅減少。志願者数は2年ぶりに300人を下回り、2016年度の改組以降で最少。
- 経済(90)は、減少で3年連続減少。志願倍率も1.9倍→1.7倍とダウンし、2年連続2倍を下回った。
- 教育(73)は、系統への低い人気に加えて、前年度増加の反動で大幅減少。コース・選修別では、17コース・選修中12選修が減少。特に、(学校教育教員養成/教科教育-国語教育)(32)、(学校教育教員養成/教科教育-英語教育)(38)はいずれも激減、(学校教育教員養成/教科教育-音楽教育)(45)、(学校教育教員養成/教科教育-技術教育)(48)は半減以下。一方で、(学校教育教員養成/教科教育-理科教育)(300)、(学校教育教員養成/小学校教育-心理学)(208)はいずれも激増、(学校教育教員養成/教科教育-美術教育)(125)は大幅増加。なお、(学校教育教員養成/特別支援教育)(100)、(学校教育教員養成/小学校教育-国際理解教育)(100)は前年度と同数。
- 国際総合科学(148)は、3年連続大幅減少の反動で大幅増加。志願倍率も、1.7倍→2.5倍にアップ。
- 理(123)は、前年度大幅減少の反動で大幅増加。学科別では、(地球圏システム科学)(194)、(物理・情報科学)(181)はいずれも前年度大幅減少の反動で大幅増加。一方で、(化)(88)は減少、(数理科学)(93)はやや減少。
- 工(39)は、前年度激増の反動と共通テスト重視配点のため共通テストの平均点ダウンの影響が大きく激減。学科別では、7学科すべてが大幅減少で、(循環環境工)(15)、(電気電子工)(30)、(応用化)(37)、(社会建設工)(39)はいずれも激減。
- 医(医)(70)は、大幅減少で前年度微減に引き続き2年連続減少。志願倍率も5.6倍→3.9倍にダウン。
- 医(保健)(85)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。専攻別では、(保健/検査技術学)(76)は大幅減少、(保健/看護学)(90)は減少。
- 農(87)は、減少で2年連続減少。学科別では、2学科とも減少で、(生物機能科学)(81)は大幅減少、(生物資源環境科学)(96)はやや減少。
- 共同獣医(138)は、3年連続減少の反動で大幅増加。志願倍率も3.3倍→4.5倍にアップ。

<後期日程>

- 人文(81)は、大幅減少。志願者数は5年ぶりに300人を下回り、2016年度の改組以降で最少。
- 経済(85)は、大幅減少で3年連続減少。志願者数は4年ぶりに400人を下回った。
- 国際総合科学(133)は、大幅増加で2年連続増加。志願者数は、2015年度の新設以降で最多。
- 理(136)は、3年連続減少の反動で大幅増加。学科別では、(物理・情報科学)(177)、(化)(172)はいずれも激増、(数理科学)(118)は大幅増加、(生物)(111)は増加。一方で、(地球圏システム科学)(92)は前年度激増の反動で減少。
- 工(43)は、前年度激増の反動と共通テスト重視配点のため共通テストの平均点ダウンの影響が大きく大幅減少。学科別では、全ての学科で大幅減少し、特に(社会建設工)(21)、(電気電子工)(22)、(循環環境工)(25)は減少率70%以上の激減。
- 医(医)(212)は、医学科で中国・四国地区で唯一の後期募集であることに加えて、2年連続減少の反動で倍増以上。志願倍率も21.2倍→45.0倍に大幅アップ。2段階選抜が実施され、第1段階選抜の合格率は33.3%と厳しい競争だった。
- 医(保健)(102)は、前年度大幅増加の反動はなく微増。専攻別では、(保健/看護学)(111)は増加。一方で、(保健/検査技術学)(83)は大幅減少。
- 農(95)は、やや減少で4年連続減少。学科別では、(生物資源環境科学)(146)は2年連続大幅減少の反動で大幅増加、(生物機能科学)(65)は2年連続大幅増加の反動で大幅減少と対照的。
- 共同獣医(167)は、2年連続減少の反動で激増。志願倍率も9.7倍→16.2倍とアップ。